

令和 8 年度仙台市産材利用施設等創出業務委託

仕様書

1 委託業務名

令和 8 年度仙台市産材利用施設等創出業務委託

2 適用範囲

本仕様書は仙台市農林企画課発注の「令和 8 年度仙台市産材利用施設等創出業務委託」に適用し、本業務委託は以下の事項に基づき施行する。

- (1) 仙台市契約規則
- (2) 契約書、本仕様書記載事項

3 目的

本市では市内森林整備の更なる推進に向け、令和 7 年度より仙台市産材（仙台市内の山林等で伐採された原木（素材）又は当該原木（素材）を加工した木材製品。以下、「市産材」という。）の利用促進に取り組んでおり、住宅分野における市産材活用時の補助事業を実施している。

一方で、非住宅分野における市産材の活用事例は少なく、市民や事業者が仙台市産材の魅力や効果を実際に体験できる機会が限られている状況にある。

上記を踏まえ、本業務では、市産材を活用し内装又は外装を木質化した非住宅施設の創出を通じ市民や事業者への市産材 PR を図るとともに、市産材の調達から加工、施工に至るサプライチェーンの実態や、市産材利用に係るコスト等に関する知見を収集し、今後の非住宅分野における市産材利用促進施策の検討に必要な基礎資料を収集することを目的とする。

4 履行期間

契約締結日から令和 9 年 3 月 31 日（水）までとする。

5 業務内容

(1) 施設の選定・調整

市民が利用又は来訪できる店舗等の非住宅施設を対象として市産材を使って内装又は外装を木質化する施設を選定し、施設管理者と本業務の趣旨・内容を説明の上、木質化の実施について了解を得る。なお、選定する施設数は問わないものとし、契約額の範囲内において複数施設を選定することを妨げない。選定する施設及び木質化は、下記の全ての条件を満たすものとする。

① 施設の条件

- ・ 仙台市内に所在すること

- ・ 会員制店舗や事務所など、利用者が限定される施設（ただし、施工事例の見学の受入れ体制が確保できる場合は除く）でないこと
- ・ 木質化工事の着手前であること
- ・ 施設として事業終了の翌年度から3年以上継続して利用する予定であること
- ・ 履行期間中に木質化が完了し、市民が来訪することができること
- ・ 施工中から供用開始後まで市産材 PR への協力（市ホームページを通じた広報等）が可能であること
- ・ 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条において規定する営業に該当しないこと

② 木質化の条件

- ・ 内装又は外装のいずれか又は両方に、市産材を1㎡以上使用すること
- ・ 内装の場合は、壁、床、天井、階段、扉、備え付けのカウンター及び棚のいずれか1箇所以上で使用する
- ・ 外装の場合は、壁、扉、ウッドデッキ、木塀のいずれか1箇所以上で使用する
- ・ 利用者に対する視認性及びPR効果に配慮し、効果的な部位への使用とすること

(2) 市産材活用計画の作成

選定したモデル施設について、次の内容を取りまとめた市産材活用計画（別紙様式1）を作成し、木質化工事着工前に発注者に提出すること。

- ① 施設概要（施設名称・用途・利用者層・利用者数（概算）・営業時間等）
- ② 木質化工事スケジュール
- ③ 市産材活用内容（施工箇所、樹種、施工面積・市産材使用率等）

(3) 木質化施設の実現

受注者は市産材活用計画に基づき、自社での施工又は施工事業者との連携によりモデル施設における市産材活用を実現すること。また施工前、施工中及び施工後の写真を撮影すること。使用した市産材については、宮城県内の合法木材供給事業者が発行した産地の記載のある出荷証明書又は納品書（産地が仙台市内で、数量の確認がとれるもの）を整理・保管すること。

木質化工事完了後は、利用者が市産材の活用状況を容易に認識できるよう、施設の特徴に応じた市産材利用に関するPRを行うこと。PRにあたっては、市民や事業者の市産材活用への意欲・関心の向上や、市産材活用促進に資する内容となるよう配慮すること。

また、発注者が別途実施する「仙台市産材PR業務委託」において作成するホームページでの情報発信と連携した普及啓発に努めるものとする。

(4) 市産材の効果検証及び報告書作成

受注者は本業務により創出したモデル施設について、①市産材効果測定（ヒアリング等）、②サプライチェーン整理、③市産材コスト比較分析の3点について、報告書（別紙様式2）により取りまとめること。

効果測定にあたっては、施設管理者や利用者へのヒアリングその他適切な手法により、市産材の認知度や好感度及び利用意向等を把握し、その結果を整理してまとめること。

サプライチェーン整理については、本業務における市産材の調達から施工までの流れについて整理し、素材生産事業者、木材加工事業者、木材流通事業者、設計事業者、施工事業者等、本業務に関与した事業者の役割及び連携体制を取りまとめること。

市産材コスト比較分析については、市産材による木質化に係る費用を整理するとともに、県産材や外国産材を使用した場合を想定した費用面での比較検証を行うこと。

6 成果品

- ・ 市産材活用計画 1部（word 又は PDF 形式）
- ・ 写真データ 1部（jpeg 形式）
- ・ 業務報告書 1部（word 又は PDF 形式）
- ・ 市産材であることを確認できる書類（宮城県内の合法木材供給事業者が発行した産地の記載のある出荷証明書又は納品書（産地が仙台市内で、数量の確認がとれるもの）等）の写し 1部（PDF 形式）

7 その他

- ・ 本仕様書に記載のない事項に関しては、受発注者間で協議打合せの上、決定するものとする。
- ・ 業務の円滑な実施のために、本事業の委託開始から終了までの間、事業の進捗状況を定期的に発注者に報告すること。

(別紙様式 1)

市産材活用計画

1 施設概要

施設名称	
所在地	
施設連絡先	
用途	
利用者層	
利用者数	
営業時間	
工事内容	☐ 新築 ☐ 改装（木質化工事のみ） ☐ 改装（木質化工事＋その他工事）
備考	

2 木質化工事スケジュール

(木質化工事及びその他工事の着工・完了日を示した工程表を添付)

3 市産材活用内容

活用箇所	☐ 内装（具体的な箇所： ） ☐ 外装（具体的な箇所： ）
樹種	
活用面積（㎡）	
市産材使用率（％）	
市産材調達先・調達方法	
備考	

(別紙様式 2)

業務報告書

1 市産材活用実績（計画から変更なしの場合は計画内容を転記）

施設名称	
所在地	
施工箇所	☐ 内装（具体的な箇所： ） ☐ 外装（具体的な箇所： ）
樹種	
施工面積（㎡）	
市産材使用率（％）	
市産材調達方法	
備考	

2 市産材効果検証

検証方法	☐ 施設管理者・利用者へのヒアリング ☐ その他（ ）
検証内容 （質問項目等）	・ ・ ・
検証結果	

3 サプライチェーン整理（実態に合わせて適宜フロー図を変更すること）



4 コスト比較分析

	本業務（市産材 〇%）【実績】	市産材（100%） 【試算】	県産材（100%） 【試算】	外国産材（100%） 【試算】
材料費	円	円	円	円
備考				

5 施工写真

- ・別添のとおり